

我々はなぜ ここにいるのか

手話通訳あり

宇宙は、ビッグバンという大爆発で生まれました。生まれたばかりの宇宙には、水素やヘリウムという、とても軽くてシンプルな元素しかありませんでした。もし、そのままだと、人間はもちろん、小さな生命さえ生まれることはできません。しかし、今の宇宙には約90種類の自然の元素と、人間が作った約30種類の人工合成元素があります。だからこそ、地球には1千万種類もの豊かな生命が暮らしているのです。さらに、火星や木星の衛星エウロパにも、生命が存在するかもしれないと言われています。今回は、宇宙の元素が増えて生命が生まれるまでの、不思議な歴史を説明します。



理学博士・日本天文学会正会員

半田 利弘氏

日本を代表する電波天文学者であり、際立つ科学コミュニケーションの才能を持ち、宇宙の魅力を一般の人々に届ける“語り部”としても知られている。小学生の頃に見たアポロ11号の月面着陸に心を奪われ、そこから一生を宇宙に捧げる道を歩み始めた。東京大学理学部付属天文学教育センター助手、鹿児島大学の教授として研究と後進の育成にも力を注いできた。数多くの著書を執筆しており多岐に渡り活躍している。SFファンでアニメ・特撮好き。鉄道ファン、乗り物ファンでもある。宇宙を「研究」しながら、その面白さを「語り」として届けられる、稀有な電波天文学者である。



茨城県立牛久高等学校教諭

岡村 典夫氏

子供の時に叔父の自作天体望遠鏡で土星をみながら天文に興味を持つ。高校2年生で自作天体望遠鏡の製作が本格化、高校教諭に就いてからは生徒たちと様々な自作望遠鏡の製作、中でも製作した空気望遠鏡はTV番組「ナニコレ珍百景」で紹介される。星空を愛し、その魅力を子どもたちに“体験”として届ける力に長けた、情熱と創造力あふれる天文教育者である。他にもスターキャッチコンテストの創設、辻村深月氏の小説「この夏も星を見る」監修、2024年東映映画「この夏も星を見る」天文監修など多岐に渡り活躍している。

日時 令和8年 **11月15日(日)**
14:00～16:20 (開場 13:10)

場所 茨城県県南生涯学習センター 多目的ホール

参加費 **無料**

申込方法

10月12日(月) 9:00申込み開始

先着順 定員400人になり次第締切

電話・来所

TEL 029-826-1101

受付時間 9:00～20:30

申込
フォーム



多目的ホール前では「東葛星見隊 天体写真展」を11月11日(水)～22日(日)に開催

開催場所
問合せ先

特定非営利活動法人ひと・まちなっとわーく

茨城県県南生涯学習センター

〒300-0036 茨城県土浦市大和町 9-1 ウララビル5階
(月曜休所日・月曜祝日の場合は翌火曜日休所)



- (1) 自動車・自転車・バイクでお越しの方は、土浦市営土浦駅西駐車場・東駐車場をご利用の方に限り、最大2時間分の駐車券を補助いたします。当日受付へ駐車券をご提示ください。(ウララパーキング駐車場は、補助対象外です。)
- (2) 天候や講師の都合等やむを得ない事情で中止または内容変更となる場合は、ホームページでご案内いたします。
- (3) お申込みの個人情報は本講座の運営以外には使用しません。

- ★主催：(一社)土浦市歯科医師会、茨城県県南生涯学習センター
- ★共催：(一社)土浦石岡歯科医師会
- ★後援：土浦市、阿見町、(公社)茨城県歯科医師会、茨城県歯科医師連盟土浦石岡支部、(一社)茨城県保険医協会、(一社)土浦市医師会、(一社)土浦薬剤師会、(公社)茨城県歯科衛生士会、(公社)茨城県歯科技工士会、(公社)茨城県看護協会、(一社)茨城県聴覚障害者協会